



# 白の世界

2007年11月29日(木)▷2008年1月29日(火)

休館日 毎週水曜日 \*但し、1月2日は開館

雪景色を描いた名作を、東西の美術史の中から思い浮かべてみると、西洋よりも、中国や日本のほうが、はるかに多いことを感じる。—中略—ことに雪の風景を描いた作品となると、中国の宋元時代の水墨画に、きびしい精神性を持つ名作が多い。日本人は自然を親しみの目で見て来たところに、また、独特の美しい雪景の優作を残している。

(東山魁夷「雪景色十選」日本経済新聞 1975年)

No.	作品名	制作年	分類	取材地
<b>本制作</b>				
1	霧氷の譜	1985	本制作	ドイツ北部・乗鞍山頂
2	冬の旅	1989	本制作	秋田県鹿角市、湯瀬
3	静晨	1994	本制作	長野県 長野市郊外
4	聖夜	1994	本制作	ドイツ南部
5	窓	1971	本制作	ドイツ ローテンブルク
<b>初期スケッチ</b>				
6	モンブラン遠望	1933~1935	スケッチ	イタリア
7	湖畔の冬(河口湖)	1935~1945	スケッチ	山梨県河口湖
8	喇嘛塔	1943	スケッチ	中国
9	雪国	1940~1945	スケッチ	
10	雪国の家	1940~1945	スケッチ	
11	横手にて	1940~1945	スケッチ	秋田県 横手市
<b>北欧風景</b>				
12	極北の湖	1962	スケッチ	ノルウェー
13	ラブランドにて	1962	スケッチ	スウェーデン
14	雪原譜	1963	スケッチ	ノルウェー
15	エルシノアの街	1962	スケッチ	デンマーク
16	リーベの家	1962	スケッチ	デンマーク
<b>連作“京洛四季”</b>				
17	あぶり餅	1964~1966	スケッチ	京都市 今宮神社
18	深雪	1964~1966	スケッチ	京都府 東山
19	修学院雪庭	1964~1966	スケッチ	京都府 修学院離宮
20	雪の石庭	1964~1966	スケッチ	京都府 竜安寺
21	雪降る町	1964~1966	スケッチ	京都府 京の町

22	北山初雪	1964~1966	習作	京都府 周山街道
23	年暮る	1964~1966	習作	京都府 京の街
<b>ドイツ・オーストリアの旅</b>				
24	フライブルクにて	1969	スケッチ	ドイツ
25	ネルトリンゲンの町	1969	スケッチ	ドイツ
26	木組みの家	1969	スケッチ	ドイツ
27	ローテンブルクの泉	1969	スケッチ	ドイツ
28	絵のある窓	1969	スケッチ	ドイツ
29	並ぶ窓	1969	スケッチ	オーストリア
<b>連作「古都を描く」</b>				
30	雪の城	1969	習作	オーストリア
31	坂道の家	1969	習作	オーストリア
32	マリアの壁	1969	習作	オーストリア
<b>連作“白い馬の見える風景”</b>				
33	早春の丘	1972	習作	
34	綿雲	1972	習作	
<b>大和春秋</b>				
35	柿の木と白壁の家	1973~1985	習作	奈良県
36	雪の春日野	1973~1985	習作	奈良県 春日野
37	室生暮雪	1973~1985	習作	奈良県 室生寺
<b>唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 日本の山・海</b>				
38	霧深き谷	1973	スケッチ	
39	満ちくる潮	1973	スケッチ	
40	潮騒	1973	スケッチ	
<b>唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 中国の風景</b>				
41	故宮良夜	1976	スケッチ	中国

42	ほうとん ふかみ 胡同俯瞰	1976	スケッチ	中国
43	だいきかいこん 大寨開墾	1976	スケッチ	中国
44	けいりんたいかん 桂林大観	1976	スケッチ	中国
45	てんざかほる 天山遙か	1977	スケッチ	中国
46	たそがれ 黄昏	1977	スケッチ	中国
47	ホータン所見	1977	スケッチ	中国
48	けいけん 涇県にて	1978	スケッチ	中国
49	雨中飛泉	1978	スケッチ	中国
50	岩の峰	1978	スケッチ	中国
51	白雲重疊	1978	スケッチ	中国
カットデザイン				
52	1月号表紙	1954	表紙原画	
53	2月号表紙	1954	表紙原画	
54	3月号表紙	1954	表紙原画	
55	4月号表紙	1954	表紙原画	
56	5月号表紙	1954	表紙原画	
57	6月号表紙	1954	表紙原画	
58	7月号表紙	1954	表紙原画	
59	8月号表紙	1954	表紙原画	
60	9月号表紙	1954	表紙原画	

61	11月号表紙	1954	表紙原画	
62	12月号表紙	1954	表紙原画	
63	川端康成著 『たんぼぼ』箱装画	1972	カット・ その他	
64	川端康成著 『天授の子』箱装画	1975	カット・ その他	
準備作・下図ほか				
65	とうか 冬華 小下図 A	1964	準備作	
66	とうか 冬華 小下図 B	1964	準備作	
67	とうか 冬華 大下図	1964	準備作	
68	雪の城 スケッチ	1970	準備作	オーストリア
69	雪の城 大下図 A	1970	準備作	オーストリア
70	雪の城 大下図 B	1970	準備作	オーストリア
71	白い朝 小下図	1980	準備作	千葉県市川市
72	白い朝 大下図	1980	準備作	千葉県市川市
73	霧水の譜 小下図 A	1985	準備作	ドイツ北部・乗鞍山頂
74	霧水の譜 小下図 B	1985	準備作	ドイツ北部・乗鞍山頂
75	冬の旅 小下図	1989	準備作	秋田県鹿角市、湯瀬
ピエゾグラフによる代表作				
76	緑響く			長野県 茅野市
77	夕静寂			長野-岐阜県奥穂高
78	白馬の森			山梨県 富士山五 合目のブナ原生林

\* 展示作品は都合により変更となる場合があります。



1979年日光にて



1979年日光にて

### 東山魁夷 (ひがしやま かいい) 略歴

明治41(1908)年横浜に生まれ、3歳のとき神戸にうつる。東京美術学校日本画科を卒業。昭和8(1933)年ドイツに留学。日展に出品をつづけ、22(1947)年特選受賞。31(1956)年日本芸術院受賞。40(1965)年日本芸術院会員となる。44(1969)年文化勲章受賞。皇居新宮殿壁画、唐招提寺御影堂障壁画等を作成。平成11(1999)年5月6日逝去。享年90歳。

### 東山魁夷館

東山魁夷は信州について、東京美術学校の学生時代から、信州へのスケッチ旅行を重ね、「わたしの作品を育ててくれた故郷」と呼んでいました。平成2(1990)年、長野県に家蔵の本制作、スケッチ、習作、下図等、500余点が寄贈され、長野県信濃美術館に併設して東山魁夷館が開館しました。

### 作品の分類について

「本制作」：主に展覧会への出品を前提に描かれたもので、当館収蔵の作品は1970年代から晩年にいたる作品が中心となっています。

「スケッチ」「習作」は、東山魁夷自身による分類で、スケッチが実景の写生であるのに対し、習作は構図や色彩に作者なりの解釈をほどこしたもので、内容的には本制作に一步近づいたものといえるでしょう。